

# C 大林道路株式会社 CSR報告書 2012



# 企業理念

## ～大林道路からのお約束～

3つのテーマからなる、大林道路の企業理念をご紹介します。

### 豊かな生活環境の創造に向けて

社会基盤、産業基盤、生活基盤等において、安全で、快適で豊かな環境を創造し、サービスを提供することにより、人々に真の満足を与え、生活の向上と社会の発展に貢献します。

### 地域社会と共に歩み

企業行動を営むそれぞれの地域社会において、事業を通じ、また、その地域の一員として溶け込み、地域社会の発展に尽くします。

### 人間尊重の経営を行います

従業員一人ひとりの個性を生かし、誇りと働きがい、生きがいのある場を提供し、また、当社と関係のある全ての人々が幸せとなることを願い行動します。

## 経営規範

### 1. 人々の期待に応え、時代を先取りした技術力により、新たな価値を創ります。

人々（社会）の要請・期待に応えることを目指し、時代の先を読んだ創造性あふれる技術開発によって、顧客が満足する新たな価値あるものをつくり、顧客の高い信頼と社会的評価を得るよう努めます。

### 2. 創造力豊かな人を育て、柔軟な組織のもとで、生き生きとした職場を創ります。

個性を尊重し、創造力を育て、能力を発揮しやすい組織及び能力ある人に報いる制度を築き、従業員が生き生きとして活躍できる「信頼と協調の風土」や創造への挑戦の気風に満ちた「闊達な職場風土」をつくりあげるとともに、安全対策の強化・充実に努めます。

### 3. 良き企業市民として、社会と文化の発展に寄与します。

環境保全に配慮し、地域社会との良好な関係を構築し積極的な社会貢献の推進を図るとともに、公正で自由な競争と適正な事業活動を推進し、地域社会への貢献と文化の発展に寄与します。また、協力会社との公正で透明な契約の締結及び役割の明確化を図り、合理的な施工・製造システムを確立します。

## Contents —目次—

企業理念／経営規範／目次／編集方針	1
トップコミットメント／CSR推進の枠組み	3
コーポレート・ガバナンス／コンプライアンス	5

### 特別インタビュー

東京スカイツリータウン®と私たちのこれから	7
-----------------------	---

### Topics

東日本大震災への取り組み	9
第二東名高速道路	10

### 豊かな生活環境の創造に向けて

良質な工事・製品の提供	11
価値ある情報の提供	13

### 地域社会と共に歩み

地域住民との良好な関係の構築	15
地球環境への配慮	17

### 人間尊重の経営を行います

安全衛生方針	19
人材育成・人事制度	20

大林道路の事業	21
---------	----

## 編集方針

大林道路は、2009年から社会的責任の取り組みや考え方をより多くのステークホルダーの皆さまにご理解をいただくため、CSR報告書を毎年発行しています。

報告内容は、左記に示した企業理念の項目に沿った形で内容を構成し、トップメッセージ、2011年度の活動など重要度が高いと考えた項目をできるだけわかりやすくお伝えできるよう心がけ、編集しています。

- 対象組織 大林道路株式会社
- 対象期間 2011年度（2011年4月1日から2012年3月31日まで。一部それ以前からの取り組みや2012年度の活動も掲載）

- 発行時期 2012年10月  
（前回 2011年10月発行  
次回 2013年10月発行予定）
- 作成部署 CSR報告書作成委員会
- お問い合わせ先  
大林道路株式会社 本店総務部 総務課  
〒131-8540 東京都墨田区堤通1-19-9  
リバーサイド隅田セントラルタワー 5階  
TEL：03-3618-6500  
FAX：03-3618-6597

# トップコミットメント

## 被災地の復興に向けて

東日本大震災から一年半が経過し、被災された皆さまには改めてお見舞い申し上げます。

当社では、震災直後から被災した交通インフラの復旧工事に始まり、支援物資の搬送や義援金など、被災地に対する支援活動を行ってまいりました。現在は継続して道路復旧工事、放射性物質の除染作業、がれき等廃棄物の置場整備など、被災地の復興事業に鋭意取り組んでいます。

また、昨年は大型台風、記録的な大雨、豪雪など日本各地で多くの自然災害に見舞われた年でもありました。全国業者である当社は、それぞれの地域で締結している災害時応援協定に基づき、緊急要員の配置、資機材の搬入など、その要請に対応し尽力しました。

引き続き当社は、国土の基盤整備を担う企業として交通インフラの整備を中心に復興事業に取り組んでまいります。

## CSR報告書2012発刊にあたって

当社のCSR活動は、常に企業理念を念頭におき、ステークホルダーである皆さまからの期待や要請に誠意をもって応えていくことと考えています。

さらに大林グループでは、建設やその周辺分野において様々な社会的課題の解決に貢献することを通じて、すべてのステークホルダーの皆さまとともに持続的に成長していくことを目指しています。

これらCSRの考え方や目指すべく方向について、その活動内容を取りまとめました。当社のCSR活動についてご理解いただき、あわせて忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

建設業の使命は、日本の国土を守り、国民の生活環境を守るためのインフラを建設・維持していくこととあります。今後もより一層建設産業に携わる一員として、強い使命感をもって取り組んでまいります。

皆さまからの一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年10月



取締役社長  
石井哲夫

## CSR推進の枠組み

大林道路のCSRは、企業理念を常に念頭に置き

「豊かな生活環境の創造」「地域社会との共生」「人間尊重の経営」の実現を目指すことです。

大林道路のCSR活動に必要な第一歩とは

「ステークホルダーに対する誠意ある企業活動」と考えています。

大林道路のCSR活動はコンプライアンスを基本とし、

これまでの企業活動に加えて説明責任や情報開示を企業自らの意思で行い、

地域社会への積極的な働きかけを行うことが大切であると考えています。



# 経営の透明性、健全性を高めるために

コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスを基盤とする経営を行っています。

## コーポレート・ガバナンス体制

大林道路は、コーポレート・ガバナンスを通じて内部統制していくことがコンプライアンス経営の根幹であり、健全な企業として発展していく上で不可欠な要素であると考えています。

その考えのもと、事業活動に対する説明責任や経営の健全性、効率性および透明性の向上をめざして、また正しい経営判断を行い、実行できるよう取締役会、経営会議、企業倫理委員会などで十分審議し、適宜、監査役会に報告し、適切な監査を受けています。

また、企業会計については、独立の立場である会計監査人から監査を受けています。

## 内部統制体制／コンプライアンス

- 企業倫理綱領行動基準（2002年制定）において「反社会的勢力との関係遮断」を定めており、従業員研修などの場での反復教育・指導により周知徹底を図っています。
- 企業倫理遵守のための基本方針を策定し、定期的に企業倫理委員会を開催することで、企業倫理遵守の徹底を図っています。2011年度は、8回の委員会を開催しました。
- 経営の健全化を目的として、内部通報制度を設けています。通報内容については、直ちにその事実関係を調査し必要な処置をとっています。
- 内部監査担当部署による各部門の業務執行状況、コンプライアンスおよび財務報告に係わる内部統制システムの監査を定期的実施しています。2011年度は、全店において実地監査を行いました。

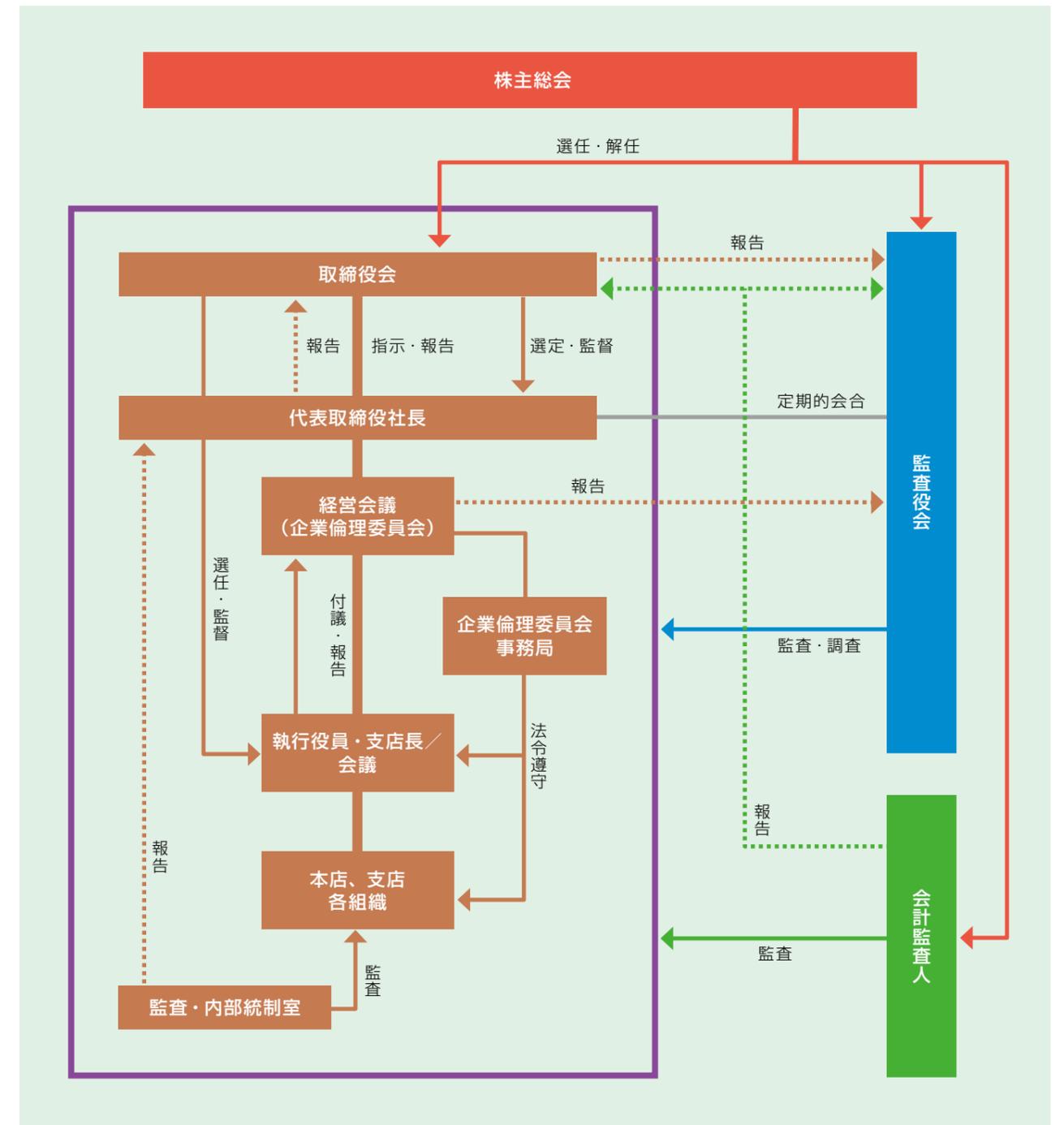
## 危機管理体制

- 危機管理対策規程を整備、運用し、危機を未然に防ぐとともに、万一発生した場合にも迅速かつ適切な対応ができるよう対策をとっています。
- BCP（事業継続計画）を策定し、自然災害など予期せぬ事態が発生した時にも事業が継続できるよう対策をとっており、お客様や地域住民への復旧支援、災害対応を実施できる体制をとっています。

## 情報管理体制

- 情報資産のセキュリティに関する基本方針を定め、緊急事態の発生に備えた予防対策を講じています。また、セキュリティ教育、不適切ソフトの調査、設問形式による従業員へのアンケート実施など、随時啓蒙活動を行っています。
- 個人情報取扱規程を整備、運用し、個人情報を適正に取り扱っています。
- 経営の重要事実に関して情報管理を行い、不正な取引が行われぬようインサイダー取引防止規程を整備、運用しています。

コーポレート・ガバナンス体制図



# 地域社会との共生のなかで 東京スカイツリータウン®と私たちのこれから

平成24年5月22日、自立式の電波塔としては世界一の高さを誇る「東京スカイツリー®」を中心とする大型複合施設「東京スカイツリータウン®」が無事に開業の日を迎えました。

施工を担当した株式会社大林組のグループ企業の一員として、

そして本社を墨田区内に構える一企業として、東京スカイツリータウン®の街づくりに従事できたことは当社にとって大きな誇りとなりました。

そこで今回の建設プロジェクトに携わってこられた墨田区のご担当者様へ伺ったお話を通して、

大林道路と地域社会の皆様とのつながりについて紹介します。

## 環境に配慮した技術や提案を積極的にしてほしい



墨田区都市整備部 土木管理課交通安全担当  
主査 大和 弘幸様

— 墨田区にとって東京スカイツリーとはどのような存在でしょうか。

まず、観光の起爆剤となる存在ですね。観光もしくは産業・経済の根本にあるのがスカイツリーです。今までは墨田区には観光課という組織がなかった。それで平成20年度に観光課が組織され、周辺地域とのタイアップなど、本腰を入れて取り組むようになりました。

— 墨田区としてはこれからどのように街づくりをしていこうと考えておられますか。

建設中から地域の住民の方々とのコミュニケーションを特に大切にしてきました。今後も皆様の意見を取り入れながら、まず街づくりの基本となるルール作りから始めて、長い目でゆっくりと都市整備を進めていきたいと考えています。

— そのうえで、私たちのような建設業界にはどのようなことを期待されますか。

都市整備とはいえ、すでに都市が出来上がっていますから、道路に関して言うのであれば、これからは改修工事が主となるだろうと思います。ですから、アスファルトプラントを所有している大手企業には、アスファルトの再利用、リサイクル、CO<sub>2</sub>削減に効果のある中温化舗装などといった環境に配慮した技術や提案を積極的に発信していただきたいですね。大林道路さんでしたら「打ち水ペープ」とか遮熱性や保水性舗装とか。

墨111号路線  
(言問通り)道路  
景観整備工事



押上・業平橋駅  
周辺地区  
平成23年度  
基盤整備工事



新タワー  
建設工事

— 東京スカイツリーの周辺はどのように整備されたのですか。

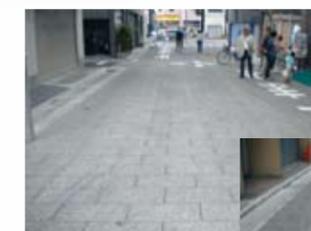
墨田区ではスカイツリー前に流れている北十間川の護岸、人道橋（おしなり橋）、周辺道路の整備を行いました。街並みにも大変こだわっていて、護岸の石張り、橋の高欄、道路の照明灯などもシンプルですが、とても凝った造りにしました。また、川沿いの道路は、墨田区で初めて車道にLED照明灯を採用するなど、環境面にも配慮しました。

— 今回の事業に係わった業者としましても、どんどん東京スカイツリーと東京スカイツリータウンがこの街になじんでいく経過を見ることができるとはうれしいです。

今は周辺で電線共同溝などの工事が行われています。まだ舗装をしなければならない場所もありますね。大林道路さんは区内業者ですし、合材プラントを持っている大手会社ですから、舗装に関しては責任を持ってしっかりと施工しているなと思っています。



業平橋押上地区  
街区開発工事のうち  
タワー街区建設工事



北十間川南側  
道路環境整備工事  
(その1)

(取材日：平成24年8月1日)

## 東日本大震災への取り組み

当社では東日本大震災直後より、東北自動車道をはじめとした高速道路や、一般道の応急復旧及び本復旧工事、工場施設・配送センター・商業施設等の復旧工事、また、沿岸部においては、がれき等廃棄物処理関連工事や放射性物質の除染作業を行ってきました。それらの復旧・復興活動の一部を紹介します。

### CASE.1

#### 東北自動車道 白河～本宮間復旧工事

- 工事概要**
- **工事名:** 東北自動車道 白河～本宮間舗装補修工事
  - **発注者:** 東日本高速道路株式会社 東北支社
  - **請負者:** 大林道路(株)
  - **施工場所:** 白河IC～本宮IC間(下り線)
  - **工期:** 2010/7/13～2012/12/24
  - **工事概要:** アスファルト舗装工他

この工事は、東日本大震災以前に発注された工事ですが、震災直後は応急復旧工事の対応のため、一時休止しておりました。震災後は復旧工事に設計変更・工期変更され、当社は白河～本宮間(下り線)の災害状況の調査及び設計業務の指示を受け、2011年9月より本格復旧のために24時間規制を行い、本復旧作業を継続しました。

震災直後は各所に段差が発生して車両の通行に支障が出ておりましたが、本復旧作業の進捗に伴い、一般車両の走行性を確保することができました。



### CASE.2

#### 磐越自動車道 郡山管内災害復旧工事

- 工事概要**
- **工事名:** 磐越自動車道 郡山管内(下り線) 舗装災害復旧工事
  - **発注者:** 東日本高速道路株式会社 東北支社
  - **請負者:** 大林道路(株)
  - **施工場所:** 磐梯猪苗代IC～小野IC間(下り線)
  - **工期:** 2011/8/31～2012/11/22
  - **工事概要:** アスファルト舗装工他

東日本大震災で被害を受けた磐越自動車道の舗装復旧工事を行いました。受注後の準備作業、現場調査業務を急ぎ行うことで、2011年11月より24時間規制を開始し、舗装の復旧工事を行いました。

この工事区間は積雪地帯のため、冬期間の車道部での作業は安全上・品質上の問題から休止していましたが、車道部以外ののり面については作業を継続し、早期完成を目指しました。

今後は、東北自動車道と同様に、工事抑制期間を除き、24時間規制を継続して、舗装の本復旧を行っていきます。



### CASE.3

#### 火力発電所アスファルト 舗装工事

- 工事概要**
- **工事名:** 原町火力発電所タンク基礎AS 舗装改修工事
  - **発注者:** (株)大林組 東北支店
  - **請負者:** 大林道路(株)
  - **施工場所:** 福島県南相馬市原町地内
  - **工期:** 2011/12/20～2012/2/29
  - **工事概要:** タンク基礎アスファルト舗装工

この工事では、福島県南相馬市にあった原町火力発電所内タンク復旧工事のうち、基礎部のアスファルト舗装を行いました。

写真上側に見えるとおり、この場所は沿岸部のために津波の被害を大きく受け、タンクはもとよりその他の構築物も流されてしまった状況でしたが、護岸の作業やがれきの処理が着々と進み、タンクを復旧するまでに至っております。

この周辺においては他の復旧工事も行っておりますが、復興に向けた工事を今後も行う予定です。



## 第二東名高速道路 浜松舗装工事に伴う見学会を開催

日本の大動脈である、東名高速道路の渋滞緩和・緊急時のダブルネットワークの確保のために、第二東名高速道路の建設が進められましたが、当社JVは浜松地区での舗装工事を施工しました。

子供たちや地元の方々に工事へのご理解をいただくため、施工中や工事完了後に現場を開放し、見学会や説明会を開催しました。

- 工事概要**
- **工事名:** 第二東名高速道路 浜松舗装工事
  - **発注者:** 中日本高速道路株式会社 東京支社
  - **請負者:** 大林道路(株)・(株)佐藤渡辺JV
  - **施工場所:** 静岡県浜松市北区引佐町 東黒田～浜松市浜北区中瀬
  - **工期:** 2010/1/8～2012/4/26
  - **工事概要:** アスファルト舗装工、セメントコンクリート舗装版工、セメント安定処理路盤工、床板防水工、土工事、用・排水構造物工、防護柵工

### みて!みて!ツアーズ2010

2010年7月、夏休みを利用して、近隣の小学生および父兄の方々に対象にした見学会「夏休みハイウェイみて!みて!ツアーズ」を開催しました。

多くの方々に参加していただき、普段は見ることのない高速道路の建設状況(この年はトンネル)を見ていただくことができました。

建設中の工事現場の見学は、子どもたちにとって夏休みのよい経験になったと思います。



### 現場見学会

2011年7月、浜北区の街を貫く高架橋のすぐ近くにある、赤佐小学校の現場見学会を開催しました。

学校から毎日建設される橋を見ていた子どもたちが、出来上がった橋から望む自分たちの校舎はどの様に目に映っていたのでしょうか。

暑い中歩いて渡った橋の真ん中で、当社で用意した冷たいお茶とミスト扇風機に集まる子どもたちのうれしそうな笑顔が心に残っています。



### みて!みて!ツアーズ2011

2011年7月、昨年に続き、今回はアスファルトプラントの見学会を開催しました。アスファルト合材の製造過程をパネルで解説し、実物のプラントを見せながら説明しました。

子どもたち、父兄の方から質問を受け回答・説明することにより、普段見ることのない合材プラントを理解していただけたと思います。



### 開通前見学会

2012年3月、浜松市が主催した開通前見学会に、たくさんの方々に参加していただき、高速道路が人で溢れかえっていました。

当社も中部支店、現場担当者総出でこの見学会に協力し、用意した飲料水5,000本を、あっという間に配り終えてしまいました。



### 工事施工を通じて

工事を受注して間もなく3車線から2車線運用に設計変更がありました。先行工事は、当初設計を基に3車線運用に合わせて作られていたため、設計変更の対応に苦労しました。

当初は別途工事であったガードレール工事が追加となり、材料は別途発注で中国業者となっていたため、現地工場へ数回渡航し製品検査を行うことと、材料納入調整と現場での施工調整が大きな問題でした。

また、スマートインターチェンジの設置工事を含めた追加工事の

要請があり、本当に期限内に完成するか不安な時期もありましたが、職員、協力業者の方々と一丸となって取り組んだ結果、無事開通させることができました。

今までにないようなこの大型工事で得た貴重な経験を、従事していただいたすべての関係者の方々が今後活かして行けたらと切に願います。

協力してくださった皆さま、大変ありがとうございました。



# 豊かな生活環境の創造に向けて

## 良質な工事・製品の提供

## 方針に基づき、ニーズに応じた高い品質を確保します

大林道路の品質の維持・向上への取り組みと、安全・安心な環境の創造に資する技術をご紹介します。

### 品質方針

私達は確かなものづくりにより顧客・社会からの信頼に応えます。

- ①顧客・社会からの要求に対する迅速な対応
- ②人材育成及び業務の継続的改善に努め確かな技術を製品に反映

### 施工技術発表会

2011年11月8日、墨田区曳舟文化センターにおいて、第21回施工技術発表会を開催いたしました。現場で実践された最新施工技術を水平展開することで、全店の技術レベルを向上させることが目的です。

「未来を築く」をメインテーマに13名が15分間ずつの発表を行ったほか、ポスターセッションによる技術開発報告会も併せて開催いたしました。



### 製品担当者研修会

大林道路では、アスファルト混合所に従事する品質管理担当者を対象とした製品担当者研修会を実施しております。研修計画に基づいた講義や試験実習を通して、品質管理の基本から地域のニーズに合わせた最新技術に至るまで、業務に必

要となる豊富な知識と確かな技術を持った人材の育成を目指します。また、職員同士の情報交流の場となるとともに、お互いに刺激を受け切磋琢磨する有意義な研修会です。



### 小型の舗装用機械を開発

近年、鋼床版上の舗装は、鋼床版の疲労耐久性向上を目的として、従来のアスファルト舗装に換え、鋼繊維補強コンクリート（以下、SFRC）舗装を適用する事例が増えてきています。この工法は、交通規制を伴った供用中の狭小な橋梁上での舗装打換えによる補修工事となるケースが多いため、安全で効率的かつ精度良く施工できるように、施工方法を工夫する必要があります。

当社は、供用中の橋梁上での鋼床版上SFRC舗装に適用できる『小型コンクリートフィニッシャー（通称CCF）』を開発しました。

この機械は、小型・軽量化を実現し、機械から発生する騒音も最小限に抑えています。また、走行装置にクローラを採用したことで走行安定性に優れ、コンクリートの敷きならし高さを自動制御で行うことにより、仕上がり精度の向上を図れます。

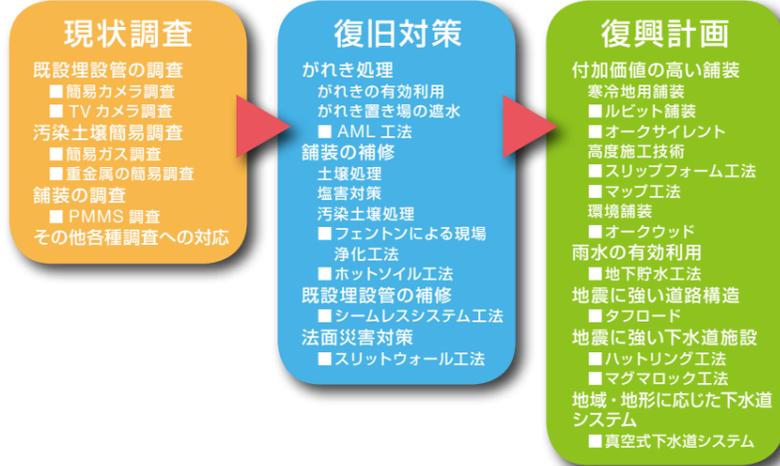
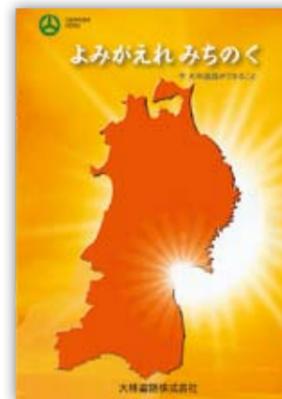


### 被災地のために私たちができること

東日本大震災で被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。犠牲になられた方々とご遺族の皆様に対し、心よりお悔やみを申し上げます。

私たち大林道路はお客様の被害状況の調査、インフラ復旧

に向けた資機材・人員の確保、技術者の派遣、被災地への緊急支援物資の搬送など、さまざまな活動を行ってまいりました。そうした復興計画をよりご理解いただくため、カタログを作成しました。



### 大林組設計本部との意見交換会

2011年11月に大林組設計本部が開催する、CENTURY FORUM 林友会との意見交換会 第5回「外構」に参加しました。大林組の設計本部の方36名が出席されました。

テーマは「外構」で、内容は材料・コスト・機能・耐久性・景観・環境などをキーワードに、外構工事の現状や、設計上の留意点また新技術などについてのディスカッションを行いました。プレゼンテーションの内容は、建築外構工事の問題事例・舗装設計の基本・熱環境改善工法でした。

日頃、設計本部の方々とは、具体的な物件以外では、電話やメールのやりとりで仕事をしています。顔を見てお話しする事が少ないので、皆さんの表情を見ながら意見交換をすると、親近感が沸きました。特に建築外構工事の問題事例・舗装設計の基本的プレゼンテーションの時は興味深く聞いていただきました。

外構工事で起こる不具合を未然に防ぐために、設計で留意してほしいことなどを具体的にお話できたことは、大林組、大林道路にとって良い時間となりました。



## 価値ある情報の提供

# お客様にご満足いただくために

大林道路はさまざまな機会を通じて、「価値ある情報」を提供しています。

### 熱環境を改善します！

近年、地球温暖化による異常気象やヒートアイランド現象の影響で、30℃を超える真夏日が増加傾向にあります。

そこで舗装の分野においても『熱環境改善工法』といわれる技術が開発され採用実績が増えてきています。

大林道路はそれらの工法・技術を『熱環境改善工法』と称し、「打ち水ペーブ」や「打ち水グラスパーク」など、建築外

構を中心に採用いただいています。

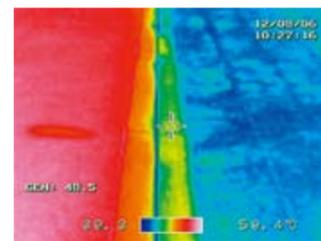
昨年新しい工法「涼置」は初めて、麒麟ビール株式会社において岡山工場、仙台工場の2工場で採用いただきました。

採用箇所は工場見学の際、お客様が移動される道路や試飲会場のエントランスなどです。

### 『涼置(すずだたみ)』

昨今、夏場の路面温度低減のため「保水性舗装/ハイシールM」が採用されています。

「ハイシールM」は雨水や散水で舗装体に保水させ、路面から気化熱を奪い路面温度の上昇を抑制する舗装です。『涼置(すずだたみ)』は、ハイシールMをショットブラストとカッター目地切りにより御影石調の路面に仕上げた舗装です。石灰石などを配合することで、色の濃淡や風合いの変化を楽しむことができます。



アスファルト舗装 ◀ ▶ 涼置



麒麟ビール仙台工場



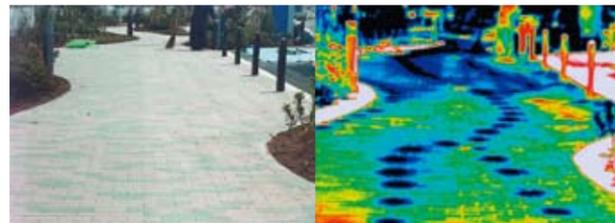
麒麟ビール岡山工場



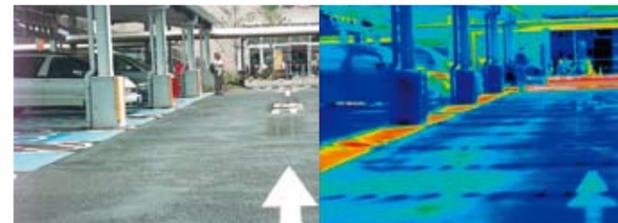
### 『熱環境改善工法の追跡調査』

熱環境改善工法については、2009年より改善効果の調査を全店で行っています。

赤外線サーモグラフィ装置・自記温度計などを利用し、調査報告書を作成し報告しています。



打ち水ペーブ



打ち水ロード

### 繊維モルタルによる石貼加工「Fi-mix(ファイミクス)」

Fi-mixは、化学繊維、各種セメント、特殊添加剤および細骨材をプレミックスした繊維補強モルタル材です。

また、Fi-mix工法は、Fi-mixを敷きモルタル、目地モルタルに使用することでこれを強化し、石のがたつきを抑制して石貼り舗装の耐久性を向上させる工法です。

#### 特徴

- ①従来のセメントモルタルと同様な施工方法が可能なこと。
- ②特殊添加剤を混入することによってモルタルに粘りを持たせ、モルタルのひびわれや細粒化を抑制すること。
- ③目地の離脱(ポロ取れ)を抑制すること。
- ④目地モルタルにおいては、急勾配(6%以上)の道路でも、従来どおりと同様に施工できること。
- ⑤セメント、特殊添加剤、砂をプレミックス化することにより、取扱が向上し、計量の間違いによる品質の不具合がなくなること。
- ⑥耐久性の向上により、維持管理に手間がかからず、維持管理費が低減できること。



### アスファルト中温化技術「エコスムージー R」

エコスムージーは、加熱アスファルト混合物の製造温度を約30℃下げる大林道路の中温化技術(商標登録済み)です。

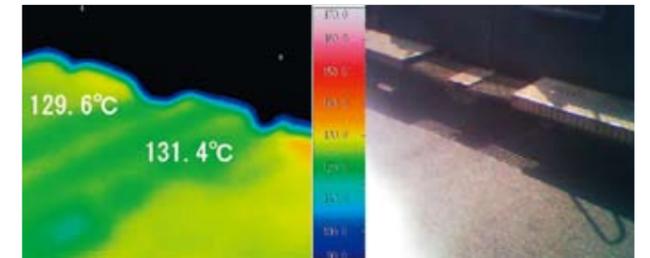
加熱アスファルト混合物製造時のCO<sub>2</sub>排出量を約15%削減することによりグリーン調達品目の1つに認定されています。

現在、国内における中温化技術は発泡系、粘弾性調整系、滑剤系の3方式に分類されます。従来、大林道路は発泡系の中温化剤を使用したエコスムージーAsを標準として展開してきましたが、今回3方式に分類されない第4の中温化技術として、エコスムージーRを追加いたしました。

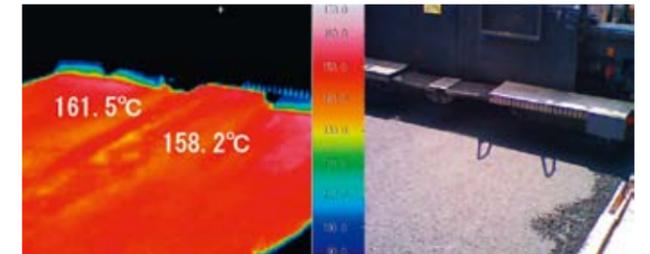
エコスムージーRを使用した加熱アスファルト混合物の品質は、一般のアスファルト混合物と同等であり、耐水性にも優れた性状を示します。また、締固め可能な温度限界も下がりますので、薄層舗装や寒冷期の施工の締固め確保にも優れた効果を発揮いたします。

写真は、サーモグラフィによるアスファルトフィニッシュ敷均し時の温度の比較です。製造温度を30℃低減したエコスムージーRの施工性は、一般加熱アスファルト混合物と同等であり、締固め度も十分確保できます。

#### ●エコスムージーRの舗装表面温度



#### ●一般混合物の舗装表面温度



# 地域社会と共に歩み

## 地域住民との良好な関係の構築

### 各種活動で地域に貢献します

大林道路は、良き企業市民として社会文化の発展に寄与していきます。

#### ●中国支店

##### 洪水被害軽減のため堆積物処分

水路の改修工事を行った際、下流域の水路に土砂が堆積し、排水機能が低下していました。地域貢献の一環として、堆積物を処分。近隣住民の方から洪水の恐れが軽減されたと感謝され、区長より感謝状をいただきました。



#### ●北信越支店

##### 高校生対象に体験学習を実施

富山県立福野高等学校の生徒を情報化施工現場に招待し、体験学習を行いました。生徒が興味深く説明を聞いている姿が印象的でした。



#### ●大阪支店

##### 子どもたちに現場見学会を実施

西脇市立重春小学校の児童を対象に、現場見学会を実施しました。児童には舗装面にチョークで絵を描いてもらい、写真撮影後には記念品を贈呈。後日、重春小学校より感謝状をいただきました。



#### ●九州支店

##### 県道で清掃・除草活動

ロード・クリーン・ボランティアに関する協定を熊本県と締結し、県道・瀬田熊本線の一部の区間(約1,200m)で、清掃・除草活動を毎月1回行っています。



##### 除雪作業で雪まつりに協力

「第25回鹿谷町雪まつり」の開催にあたり、現場周辺の雪を除雪・運搬。後日、地域住民から感謝状をいただきました。



#### ●四国支店

##### 地域住民へ感謝を込めて道路清掃を実施

日頃より道路建設事業にご協力いただいている地域住民の方々へのお礼として、新宮インター周辺の道路清掃を行いました。



#### ●中部支店

##### 子どもたちに警報ブザーを寄贈

地域の子どもの安全を守るため、危険察知の合図に使用する警報ブザーを地区子供会に寄贈しました。



#### ●東北支店

##### 海辺の公園で清掃活動を実施

当社が加盟していた八戸南・南環状工事連絡協議会で「蕪島海浜公園のクリーンアップ作戦」を企画し、地域貢献の一環として清掃活動に参加しました。



#### ●本店

##### 交差点の交通誘導を実施

本店のある東京都墨田区内白鬚橋東詰交差点において、春・秋の交通安全運動の期間中、勤務開始時間まで歩行者の誘導を行いました。



#### ●関東支店

##### 近隣小学校で資源回収に協力

新設の高速道路の工事の際に、近隣小学校での廃品回収に協力しました。高速道路の工事完了後は、使用した仮設資材を地域の方に無償で提供。地域の方々とのコミュニケーションをとる良い機会でした。



#### ●北海道支店

##### 駅前の案内図を作成

札幌市観光文化局と協力して、周辺環境に配慮した札幌駅前の案内図を作成し、設置しました。



##### 中学校通学路の除雪作業を実施

道東営業所管内で中西別中学校の通学路を除雪し、同中学校校長より感謝状をいただきました。この取り組みは北海道新聞(2012年2月15日発行)で取り上げていただきました。



# 地球環境への配慮

## 地球環境の保全に取り組んでいます

地球環境に対し、「大林道路はどのように貢献できるのか」常に考え、実践しています。

### 環境方針

私たちは地球を汚染から守るため環境経営に取り組めます。

- ①「もったいない」気持ちを大切に資源の有効利用
- ②当社の環境技術により住みたい街づくりに貢献

当該方針は環境目的・目標の指針となるもので、当社の職場で働くすべての人に周知しています。また、一般の人が、当社の環境方針を知ることができるようホームページに掲載しています。

### 環境に関する監視測定結果

私たちは環境方針に基づき環境目標を定め、日々監視測定に努めています。

#### エネルギー使用量

		2009年度	2010年度	2011年度	増減
オフィス部門	床面積 1㎡当たりのエネルギー使用量 (原油換算) ●目標…前年に比べ1%の削減	31.82 ℓ /㎡	36.06 ℓ /㎡	27.95 ℓ /㎡	22.4% 減
	再生骨材を 1t 製造するためのエネルギー使用量 (原油換算) ●目標…前年に比べ1%の削減	3.04 ℓ /t	2.78 ℓ /t	2.77 ℓ /t	1.1% 減

### アスファルト混合所における省エネルギー対策

合材製造部門においてはCO<sub>2</sub>排出量削減のために様々な取り組みを行っております。

現在、アスファルト混合所の主要燃料を重油からガスに変更する取り組みを徐々に進めており、既に実施した5か所のアスファルト混合所においては、CO<sub>2</sub>排出量が従来に比べて25%以上削減されています。

また、使用する重機についてもハイブリッド重機の導入を始めており、燃料消費量の低減によるCO<sub>2</sub>排出量削減だけでなく、窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)、硫黄酸化物 (SO<sub>x</sub>) といった排ガスの

大幅な排出量削減や低騒音・低振動による周辺環境への配慮に努めております。

その他にもLED照明や太陽光発電パネルの設置による省電力に貢献すると同時に、事務所内でも発電電力量をモニターに表示させておくなど、恒常的に従業員の意識啓発を実施しております。



ハイブリッド重機



LED照明



太陽光パネル



太陽光発電モニター

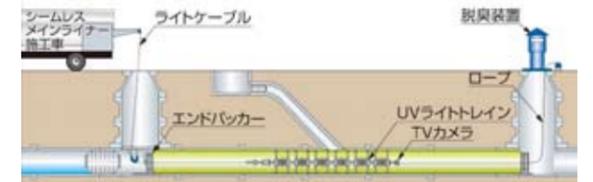
### 環境に配慮した技術

#### 既設管を活かして管路を更生する『シームレスシステム工法』

光 (紫外線) の照射によって硬化する更生材を使用して、老朽化した排水管をスピーディに再生するシステムです。均一で確実、継ぎ目もなく (シームレス)、温度などの条件に施工時間が左右されず、更生管路が完成します。

大林道路は将来増加が見込まれる老朽管対策として、2003年に管更生工法である光硬化工法 (シームレスシステム工法) の特許を取得しました。

熱硬化工法 (蒸気、温水による) に比べ、CO<sub>2</sub>排出量の少ない光硬化工法で実績を伸ばしています (2011年度実績 5,215m)。



対応管径：本管 φ 200 ~ 800mm  
取付管 φ 100 ~ 200mm



管内に引き入れたUVライトレインを走行させ、メインライナーに紫外線を照射して硬化。



#### CO<sub>2</sub> 排出削減に効果大!

- 作業時間短縮による施工機器の排出CO<sub>2</sub>を削減。
- 交通渋滞の最小化による負荷低減。

#### 管径350mm 50m施工の場合の排出CO<sub>2</sub>

CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>による環境破壊



工事中の車輛のエネルギー消費による負荷コストを試算。

#### 各工法のCO<sub>2</sub>排出量をコスト評価 (自立管)

工法名	kg-CO <sub>2</sub>	外部コスト (円)	摘要 (※)
更生工法 A	272.9	409	19.49 本
更生工法 B	476.7	715	34.05 本
更生工法 C	1256.4	1,884	89.77 本
シームレスシステム	226.5	339	16.17 本

※1本の杉 (50年生の杉：直径26cm、樹高22m) が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>は、約14kg (参考：「1997年度森林・林業白書 (林業白書)」、農林水産省)

#### 日本全国の老朽管更生におけるCO<sub>2</sub>排出量を試算

●現在、50年を経過し、再生を必要とされる老朽管：9,000km  
これらを全て更生したときのCO<sub>2</sub>排出量を比べる。  
(管径を350mmと想定して試算)



●さらに30年以上経過した老朽管予備軍も含める：80,000km  
これらを全て更生したときのCO<sub>2</sub>排出量を比べる。  
(管径を350mmと想定して試算)



#### ますます増え続ける老朽下水道

●今後、老朽管はうなぎ上りに増加していきます。その対策である管路更生においてCO<sub>2</sub>の排出削減の重要性は必然的に大きくなっていきます。

#### 今後の全国の老朽管延長の増加状況グラフ



CO<sub>2</sub>排出削減の調査結果 (光硬化工法協会調べ)

# 人間尊重の経営を行います

## 安全衛生方針

### 災害ゼロをめざして

#### 安全衛生方針

私たちは、「自分は絶対に、事故・災害を起こさない」という強い気持ちを持って作業に従事します。

#### 安全衛生目標

##### ① 安全目標

- 不安全状態・不安全行動による労働災害の防止
- 車両系建設機械および車両による労働災害の防止
- アスファルト混合所での事故・労働災害の防止
- 公衆災害の防止
- 交通事故の防止

##### ② 衛生目標

- 職業性疾病の防止（特に熱中症）
- 社員の健康状態の把握
- 協力会社従業員の健康診断の徹底と健康状態の把握

#### 安全衛生スローガン

繰り返し型労働災害、公衆災害および交通事故の絶滅  
～事故災害防止を先取りした  
リスクアセスメント活動を確実に展開しよう～

#### 安全大会

安全意識の向上と安全衛生対策要綱の周知徹底を図るため、毎年6月各支店で安全大会を開催しています。



#### 安全パトロール

安全パトロールを実施し、安全ルールの順守状況をチェックしています。



#### 安全表彰

当社ではお客様の安全のニーズに応えた施工を行っています。

その結果平成23年度は国土交通省をはじめとして16件の安全表彰を受けました。



#### 安全運転への配慮

当社では従業員が安全運転を心がけるため、全国の警察等で実施している安全運転コンテストに参加しています。



#### 放射線対策

当社では福島第一原子力発電所事故による、放射性物質により生じた放射線障害のリスクの軽減、当社及び協力会社従業員等の安全と健康の保持を目的とし、放射線対策ガイドラインを策定しました。

#### 安全ニュース720号突破

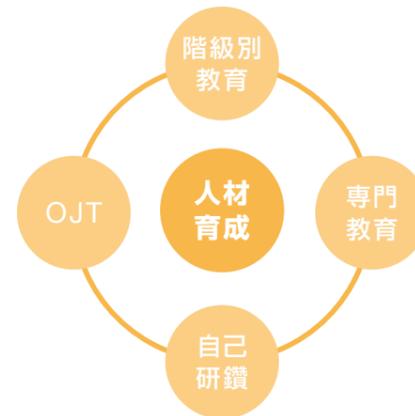
安全ニュースは1989年4月に第1号を発出して以来、2012年3月で720号に到達しました。全国各地の工事現場や、アスファルト混合所で起こった事故・災害事例をわかりやすく取り上げ再発防止に役立っています。



## 人材育成・人事制度

### 従業員の満足のために

#### 教育



「創造と挑戦の意欲」に満ちあふれた人材を育成します。

OJT、自己啓発を基盤とし、人材の成長に合わせた階層別教育、必要とされる専門知識を習得する専門教育を実施し、個人の成長をサポートします。

##### ● 新入職員研修



ビジネスマナーや、社内規定、安全、測量など必要とされる基本的な知識を習得します。

##### ● 営業所長フォローアップ研修



営業所長研修受講者には受講後の振り返りとさらなるスキル向上を目的としたフォローアップ研修を実施しています。

#### ワーク・ライフ・バランス

働きやすい職場をめざし、人事制度を充実させます。

##### 育児・介護休職制度

##### 看護・介護休暇制度

##### 育児・介護短時間勤務制度

過去5年間の育児休職の取得率は92.3%（女性のみ集計）。  
復職後は育児短時間勤務制度を利用し、育児と仕事の両立が可能です。

##### 定年退職者再雇用制度

過去5年間の再雇用率は69%。長年培ってきた経験や専門知識を活かし、若年者へ技術を伝承します。

##### 総労働時間の削減

労使で労働時間等設定委員会を設置し、毎月協議会を開催しています。  
従業員が心とからだの健康を保持しながら、労働時間以外の生活時間を確保できるような労働環境を整備することを目指しています。

##### 婦人科検診受診料補助制度

##### 健康相談サービス

健康診断の他、婦人科健診の受診料の補助制度を制定しています。  
また、従業員とその家族が24時間365日利用可能な健康相談サービスを導入しています。

#### コミュニケーション

様々な活動を通じてコミュニケーションの輪を広げます。

##### ● 職場の見学



職場見学、インターンシップの受け入れを通じて生徒、学生のキャリア形成をサポートします。

##### ● インターンシップ

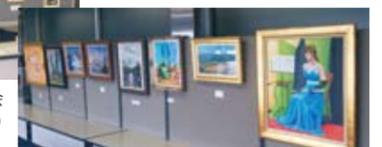


##### ● OB・OG会



絵画、写真、書道、工芸など会員が製作した作品を持ち寄り展示会を開催しました。

退職された諸先輩がOB・OG会である柏路（はくろ）会に入会し、様々な活動を通じコミュニケーションを図っています。  
(2012年3月末会員数 267名)



# 大林道路の事業

## 大林道路の事業内容、工事事例、財務状況などを紹介します。

大林道路は、1933年の創立以来、道路建設を基軸とした長い歴史に培われた技術により、人々の生活に密着した道路を核に空港・港湾、通信情報施設・下水道、病院・学校、スポーツレジャー施設・公園、工業や商業の各種施設など社会インフラの整備や豊かな生活環境の実現に貢献してまいります。

### 会社概要

- 商号 大林道路株式会社  
OBAYASHI ROAD CORPORATION
- 本店所在地 〒131-8540  
東京都墨田区堤通 1-19-9  
リバーサイド隅田セントラルタワー 5F  
Tel:03-3618-6500
- 代表 取締役社長 石井 哲夫
- 創立 1933 (昭和 8) 年 8 月 26 日
- 資本金 6,293 百万円 (2012 年 3 月 31 日現在)
- 従業員数 1,027 名 (2012 年 3 月 31 日現在)  
平均年齢 41 歳  
平均勤続年数 17 年
- 株式上場 東京証券取引所市場第一部
- 主な事業領域
  1. 道路工事、舗装工事、造園工事、敷地造成工事、上下水道工事、その他の土木工事及び建築工事
  2. アスファルト合材等の製造及び販売
  3. アスファルト及びコンクリート廃材の中間処理業務
- 建設業許可 国土交通大臣許可 (特 -24) 第 2523 号
- 建設コンサルタント登録 建 21 第 4207 号 道路部門
- 一級建築士事務所登録 大阪府知事登録 (二) 第 15214 号
- 宅地建物取引業許可 国土交通大臣 (6) 第 4206 号

### 事業所一覧

- 関東支店 〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町 3-20  
Tel 03-3296-6680
- 中国支店 〒730-0051  
広島市中区大手町 4-1-1  
Tel 082-243-1966
- 大阪支店 〒530-0047  
大阪市北区西天満 1-2-5  
Tel 06-6360-7110
- 九州支店 〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前 3-2-1  
Tel 092-432-0884
- 北海道支店 〒060-0001  
札幌市中央区北一条西 2-9  
Tel 011-241-1828
- 四国支店 〒760-0007  
高松市中央町 11-11  
Tel 087-833-3729
- 東北支店 〒980-0014  
仙台市青葉区本町 2-5-1  
Tel 022-225-4437
- 技術研究所 〒204-0011  
東京都清瀬市下清戸 4-640  
Tel 042-495-6800
- 北信越支店 〒950-0914  
新潟市中央区紫竹山 1-5-6  
Tel 025-243-6807
- 機械センター 〒346-0035  
埼玉県久喜市清久町 6-5  
Tel 0480-23-6100
- 中部支店 〒460-0002  
名古屋市中区丸の内 2-18-25  
Tel 052-222-5161

### 財務状況

受注高



売上高



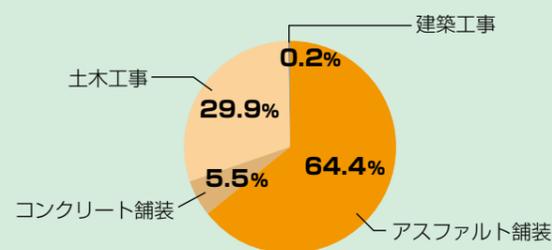
経常利益



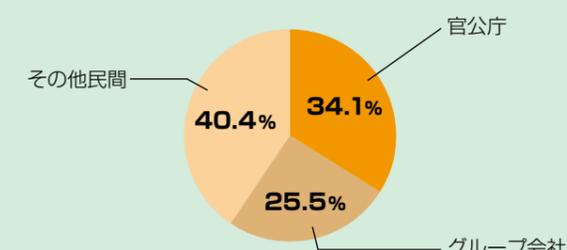
当期純利益



工種別受注高 2011年度



発注者別受注高 2011年度



### 主な竣工工事



第二東名高速道路 浜松舗装工事 (静岡県)



かすみがうら市立志筑小学校屋外付帯工事 (茨城県)



中清水地区舗装工事 (山形県)



関越自動車道 高崎管内舗装補修工事 (群馬県)



(仮称) 正等寺和泉霊園建設工事 (大阪府)



国道 188 号末武電線共同溝南花岡工事 (山口県)